

短期予報解説資料 2025年8月5日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

① 500hPa5820m付近のトラフに対応して、前線を伴う低気圧が北海道地方付近にあって、東北東進。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となっており、東日本日本海側と北日本では雷を検知し、強い雨を解析。

② 500hPa5940m以上の高度場に対応した高気圧が小笠原近海にあって、ゆっくり西へ移動。西～東日本は高気圧に覆われ、晴れて気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。特に関東地方は、フェーン現象も加わり

40℃以上となっている所がある。群馬県の伊勢崎では41.8℃を観測し、国内の最高気温の記録を更新。一方、気温の上昇や高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となっており、全国的に強い雨を解析している所がある。東シナ海や沖縄の南では雷を検知。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、6日には千島近海へ進む。また、5日夜には、500hPa5820m付近の正渦度移流に対応して別の前線が華北～朝鮮半島付近にのびる。6日朝には前線上の朝鮮半島付近に低気圧が発生し、7日には北海道付近に進み、前線が本州を南下する。前線や低気圧に向かう500hPa以下350K前後の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。東～北日本では7日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。西日本では6～7日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に、西～北日本では7日にかけて、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、1項②の高気圧と前線や低気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。西～北日本では7日にかけて、南西諸島では7日は、強風や高波に注意。

② 1項②の高気圧は、7日にかけて西へ移動し日本の南に中心を移す。西～東日本では7日にかけて、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、日中の昇温や高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と西～東日本では6日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

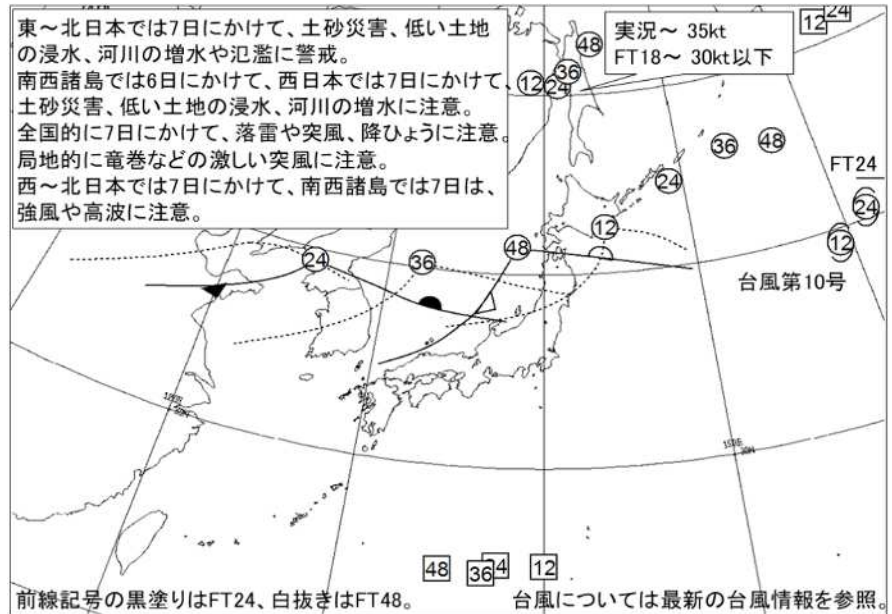
3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：北陸150、東北120mm。

② 波浪(明日まで)：中国・九州北部3m。

③ 高潮(明日まで)：西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。



主要じょう乱解説図